

\*\*\*\*\*

仙台YMCAで震災復興支援で活躍中の、名古屋東海クラブ鈴木一弘君からの報告が届きました。みなさんご覧ください。

\*\*\*\*\*

お疲れ様です。

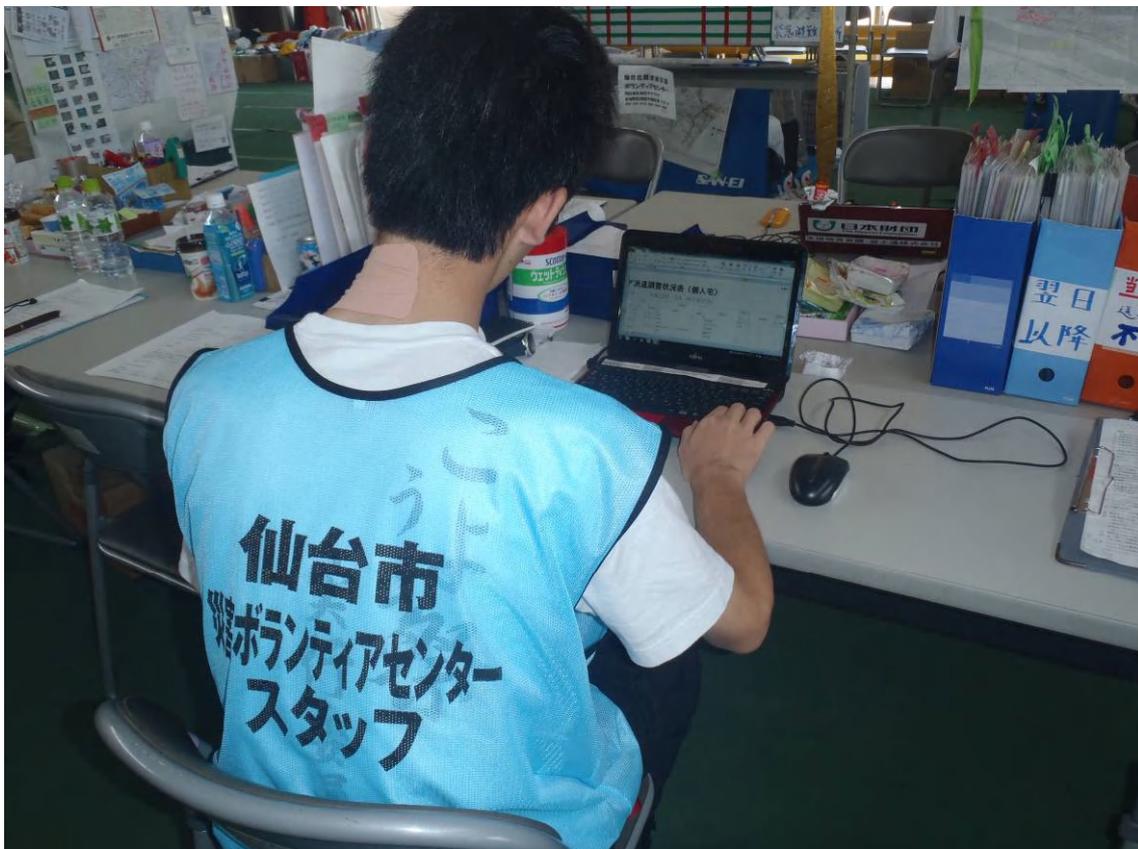
鈴木一弘@仙台YMCAです。

### 仙台2日目

天皇皇后も訪れた仙台 宮城野ボランティアセンターで活動しました。

同行者は、ユースの古賀英(こがすぐる)君(名古屋インターアクトクラブ豊田高専情報工学科5年生)です。彼は、仙台Yでも、宮城野ボラセンでも重宝され、7月30日まで、同ボラセンの「調整班」で、被災者とボランティアを結びつける運営ボランティアとして活動。7月31日以降は、仙台YMCAの夏キャンリーダーとしても八面六臂の活躍が期待されています。事実、働ける・動けるユースの派遣は大歓迎されました。

添付の写真は、ボランティアセンターで活動するユース、古賀英君です。



仙台3日目です。

昨日から京都YMCAより、廣田スタッフの引率で高校生1名、中学生5名(男子2名、女子4名)が仙台入り、七ヶ浜方面のワーク(仙台Yコーデイネート)に出かけています。

昨日・今日と、私とユース古賀君(豊田高専5年)は、公設の仙台市宮城野区のボランティアセンターで運営スタッフとして活動しました。昨夕は、活動後に津波被害の甚大だった沿岸地区を視察しました。

明日は、古賀君は引き続き仙台市ボラセンで活動。私(鈴木)は、日本YMCA同盟の要請で、福島県南相馬市で、YMCAから地元のキーパーソンを通じて母親グループに配るペットボトル入りの水(1500本)の搬入(トラックからの積み下ろし)に立ち会います。

昨日も報告しましたが、古賀君の活躍と重宝のされ方は素晴らしく、また名古屋Yの若手スタッフのなべリーダーやきよめリーダーの活躍ぶりの評価も非常に高く、ユース派遣の意味が改めて評価されるべきかな、と思います。

因みに、仙台地区の大学は、新学期開始が遅れた分、夏休みの開始も遅く、それがキャンパス繁忙期にかなり深刻なリーダー不足があるそうです。(そこに、古賀君派遣で大歓迎されました。彼は岩手の岩手山の麓で開催されるキャンプに同行します)

ただし、仙台YMCAの現場スタッフの疲労もかなり色濃いように感じられるのと、私たちが「善意で」送った支援物資が行き場がなく、裏階段の1階から4階まで埋め尽くされ、私たち「支援した側」の責任も問われているような気がします。

以上で今日の報告を終わります。

明日は、福島の情報等が得られてたら、と思います。